

\*少なくともひと月に1度は発行しようと思っています。前号(5月27日発行)ですからぎりぎりですね。ここ数日はすでに8月上旬の暑さです。梅雨も終わったということです。皆様がいかがおすごしでしょうか。

/// I N D E X //////////////////////////////////////

- ・よもやま情報……………削減貢献量とカーボンニュートラリティ
- ・LCAFからお知らせ…初級検定試験の日程発表  
アドバイザー契約を始めます。
- ・編集後記……………退職記念パーティーをやらしてもらいました。

■■ よもやま情報 ■■

ISO14068(カーボンニュートラリティ)のWGが5月18日(月)~20日(金)にパリに引き続きオンラインで行われています。6月20日(月)と6月23日(木)が終わり、6月27日(月)、28日(火)、6月30日(木)、7月5日(火)、7月7日(木)と続き、今のWD(ワーキングドラフト)から、一段ISOに近づくCD(コミットドラフト)を作成する予定になっています。カーボンニュートラリティの定義は、「排出量(Emission)=除去量(Removal)+オフセット(カーボンクレジットの購入)」とほぼ決まっています。排出量の算定方法は、組織についてはISO14064-1:2018を使い、製品についてはISO14067:2018を使うというところまでは決まっています。

今の議論は、カーボンニュートラリティに行き着くまでのトランジションにおける「削減量」の算定方法です。削減量はある時点と現在の差ですから、基準になる時点(ベースライン)をどのように決めるかが問題になります。すぐに出てくる意見は、排出量が大きい昔と比べると削減量を大きく見せることができるので困るという意見です。それなら「リファレンス」を基準にするという意見がでて、「リファレンス」って何?と議論が続きます。すると用語の定義が必要と言う話になって。。。まあ、少しずつ進んでいるので、7月の末にはCDが出ると思います。

削減貢献量(Avoided Emission)は、ISO14068(カーボンニュートラリティ)では完全に削除されましたが、Annexに書かれているISO/TR14069がちっとも発行になりません。フランスの議長に理由を聞いたら、ISO/TR14069はISO14064-1の実施方法を示すTR(技術報告)として作成が進んでいましたが、ISO14064-1に書いてない削減貢献量がAnnexにあるのはまずいという意見がでて、これをTS(技術仕様書)に改編してISO/TS14069として発行するための仕切り直しに時間がかかっているということです。

さらに彼が言うのには、ISO14064-1:2018に削減貢献量を入れ込む方がすっきりするので、削減貢献量の重要性を認めてもらうためのワークショップを10月12日から始まるISO/TC207/SC7の総会で行うということです。私もこのワークショップに参加することにしました。さらにLCAFは、10月30日~11月2日に福岡で行われる「エコバランス国際会議」で、産総研の本下さんや東大の醍醐さんと協力して、「削減貢献量」の特別セッションを企画中です。削減貢献量は、カーボンニュートラリティの宣言の算定には使えないかもしれませんが、企業の技術開発によるGHG削減努力を示す方法として、カーボンニュートラリティの隣においておくツールになると思っています。

■■ LCAFからのお知らせ ■■

○「LCA初級検定試験」を2022年7月23日(土)にオンラインで行います。皆さんの実力を試してみませんか。過去の問題と解説は<<https://www.lcaf.or.jp/seminar-2.html>>に公開されています。参考にしてください。受験申し込みを受け付け中です。

(LCA「中級」検定試験は9月中旬に行う予定です。)

○アドバイザー契約を始めます。

LCAFでは、LCA実施の支援事業を行ってきました。しかし最近、「カーボンニュートラリティ」に向かう世界的な流れの中で、Scope3や削減貢献量の実施などに関するご相談が増えました。また、欧州の「環境フットプリント」やLIMEの環境影響評価に関するご相談、並びに、ISOで国際標準規格化が進んでいるソーシャルLCAやサーキュラーエコノミーに関するご相談が増えています。そこで、私のISOやUNEPなどの海外活動の経験を、企業の皆様の活動に活

かしていただけるよう、この度、「アドバイザー契約」を開始することにしました。詳細は、[lcaf-contact@lcaf.or.jp](mailto:lcaf-contact@lcaf.or.jp)までお問合せください。

## ■■ 編集後記 ■■

ここ数日、暑い日が続いています。米国の仕事のメールのついでに、東京は 35°C を超えていると書いたら、米国東海岸は 100F だと返事がきました。換算表で調べたら、華氏 100 度は 37.8°C とのこと、そりゃ東京より暑いですね。

6月6日(月)に、2020年3月に行う予定だった私の退職記念パーティを2年3ヶ月ぶりに実施してもらいました。会場の京王プラザホテルに約50人の人に集まって頂きました。大半が2010年頃のカーボンフットプリント試行事業か、それ以前のLCAの初期にお世話になった人たちで、お互いに旧交を温め、とても楽しい会になりました。皆さん、偉くなったというか、(年をとった)ということですね。

カーボンフットプリント試行事業といえば、6月15日に行われたLCA日本フォーラムの総会セミナー「プラスチックのリサイクルを考える研究会：成果報告会」に参加し、会場にリアル参加した皆さんの話を聞いていたら、カーボンフットプリント試行事業で公開していたLCAデータベースをまだ使っているという人がいて、びっくりしました。「目的外使用」になることもですが、とても古い(大地震の前の)データなので、このまま使い続けるのは危険だと思います。結局、低価格で簡単に入手できるデータベースがないことが根源的問題だと思います。さて、どうすればよいか、関係の方々と相談中です。

朝顔もオシロイ花も咲き始めました。桃も赤くなってきました。鳥さんに全部を食べられないように今から袋を掛ける作業をします。暑いですが、熱中症にならないように気を付けましょう。

(LCAF 理事長 稲葉 敦)

ご意見、ご感想、本メールマガジンの解除のご連絡はこちらまで  
[lcaf-contact@lcaf.or.jp](mailto:lcaf-contact@lcaf.or.jp)

一般社団法人 日本 LCA 推進機構

Japan Life Cycle Assessment Facilitation Centre (LCAF)

(エルカフと呼んで(読んで)ください)

〒71-0014 東京都豊島区池袋 2-36-1

インフィニティ池袋 8F52

電子メール：[lcaf-contact@lcaf.or.jp](mailto:lcaf-contact@lcaf.or.jp)

URL:<https://lcaf.or.jp/>